

令和6年度 第1回 西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月9日（木） 13時30分から15時30分
- 2 開催場所 西小学校 会議室
- 3 出席委員 中谷 忠司、土屋 雅利、加藤 正寿、山田 悟央、
三上 昌子、岡野 みの、平出 慎一郎、鈴木 将孝、
種茂 実予子
- 4 欠席委員 福田 達樹
- 5 オブザーバー 桐澤 祐貴（県居協働センター）
- 6 学 校 渡辺 浩司（校長）、佐野 尚也（教頭）、高橋 真之（教務・
CS担当）、古田 秀樹（生徒指導主任）、國年 麻衣子（CS
ディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 國年 麻衣子

9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、加藤委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）西小学校学校運営の基本方針について
- （2）夢育やらまいか事業（CS加算分）に対する意見書について

11 会議記録

司会から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）西小学校学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があった。今年度の学校教育目標は「進んで学び 共に世界で生きる子」であり、「持続的な社会の創り手」となっていけるよう子供たちが自らを高め成長していくことを期待していること、また「3つのやりがい」を生かした学校経営についての説明を行った。

また、生徒指導主任より西小学校いじめ防止基本方針について別紙資料に基づき報告。「いじめ見逃しゼロ+いじめの重大事態にしない」方針に基づき学校として複数の職員でチームで対応することを確認した。

委員からは、授業参観の感想とともに、以下の発言があった。

・いじめに関しては、重大事態にならないよう、小さなものは事前にたくさん見つけて報告するのが良い。子供によって感じ方も違う。昔とは違う判断の仕方ということもよく理解できた。学校経営方針については「進んで学び 共に世界で生きる子」は「持続的な社会の創り手」となっていくためである点を今年度追加してもらい理解した。

学習方法については、キャリア教育「本物を見る、聞く、触れる」ことを大切にしていることを理解した。実際に外部講師を招いて直接聞く経験が大事。(加藤委員)

・本日学校を回っていいなと思った点は、「サッカー選手になりたい」という夢があるときに、その周りにはいろいろな職種の方がいて「サッカー選手」が成り立つ、ということが図解されていた点。前に出ていける人、支えていく立場の人、それぞれ子供が自分のキャラクターに合った生き方を見つけやすくなる非常に良い掲示だと感じた。授業参観は全体的に落ち着いており、掲示物を見ても字がとても丁寧。取り組もうとする姿勢、西小が良い状態にある証。引き続き見てもらい、変化の兆しがあればキャッチできるようにして欲しい。(鈴木委員)

・授業参観で気になったのは、教室の掃除、チョーク等の汚れ。先日の参観会でも気になったので本日注意して見たが、クラスにより差がある。(平出委員)

→一昔前は毎日掃除の時間があつた。今は授業数の増加、教員の働き方改革もあり、週2回10分間。掃除時間が減少している。用務員は教室内へは入らないので教室は担任と子供たちに任されている。やれる部分は声掛けしていく。(教頭)

→子供たちが自ら気付いてその都度さっときれいにできる力をつけていくことが大切。(加藤委員、平出委員)

・委員3年目になるが全体としてはコロナの頃に比べ、皆いきいきとして良い環境が戻ってきたと感じる。最近本でも読んだが学校では時間で学びが区切られるのは仕方ない面がある。家庭でも子供の興味を広げられるように、子供の興味が家庭に伝わる方法があればと感じた。(平出委員)

・ボランティアを通して子供たちと顔見知りになれ、コミュニケーションを取れるようになった。地域の顔、というのは子供たちには大事。登下校でも関わり持っていきたい。校長先生挨拶で「やрмаいか」精神とあつたが授業では家庭科でも子供同士の教え合いがあり、とても良い。(岡野委員)

・家庭科ボランティアで見ていると、子供たちがお互いに相手を見ながら行動できている。3年生のウェビングという授業が大変興味深かった。(三上委員)

・音楽では身体を動かして楽しそうにしていた姿が印象的だった。他の教科もすべて目標をもって取り組んでいることがわかった。(種茂委員)

・「にしのこ」合言葉にある能力の意味を具体的に知りたい。目標を達成するための能力？(山田委員)

→「進んで学び 共に世界で生きる子」の実現のために、この4つの能力をつけていく。運動会を例にとると、速く走るには自己理解・自己管理能力の「の」が大事なように見

えるが、それだけではなく、どうすれば速くなれるか考える力「し」、応援し人とかかわる力「に」、どうなっていくか見通す力「こ」も併せて身に付けて欲しい。そういう学びが学校方針「進んで学び 共に世界で生きる子」につながる。(校長)

・前年度の第4回協議会でも少し触れたが、子供たちに関する課題について各学年で話し合ってみたらどうか。例えば SNS、ヤングケアラー等のホット 이슈について1～6年生まで各学年で課題があるかどうかの話し合いをしてもらい、もしあればこの協議会の場に持って来て欲しい。委員は日々子供と接しているわけでないので課題に気付けない。日々接する先生方の意見が欲しい。7月以降の議題に入れてほしい。(山田委員)

→今後、職員の声を吸い上げていきたい。(教頭)

・音楽は明るく楽しそうだった。リラックスして生き生きしている。(山田委員)

・授業中に姿勢が悪い子供がいた。指摘したら直したが、善いことと悪いこと、先生を敬う気持ち、緊張感みたいなものも大切。全体的には静かで良い雰囲気ので授業ができていた。先生の残業を減らすためには、総量を減らすことが大事。できるところは協力したい。(土屋副会長)

・クラスの掲示物、見るものが多く様々なことに取り組んでいるのが分かる。一方、子供たちは疲れないか、最近外で遊んでいるのをあまり見かけない。教育中心で、塾などに行く子が多い。もっと子供たちの時間があってもよいと感じる。(中谷会長)

・ニュース等で話題になっている早朝の学校開放について、西小では朝早く来る子はいらぬのか？ニュースでは早く登校しても学校に入れず行き場のない子の話があり心配。

(土屋委員)

→同じ話題で、新聞で読んだが地域のボランティアが見守っている地域もあった。(山田委員)

→昇降口は閉まっているが通用門が開いており校内には入れる。7:40 に昇降口を開けている。責任もあるので教室には時間前には入れていない。(校長)

西小では通用門から 7:20 くらいに入る 2 年生が一番早い。(生徒指導主任)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(2) 夢育やらまいか事業 (CS 加算分) に対する意見書について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき説明があった。

その他連絡事項

- ・CS コーディネーターより教育活動における外部人材について、別紙資料に基づき報告があった。
- ・司会より第2回以降の学校運営協議会の日程につき確認があり、次回会議は令和6年7月11日（木）午後1時30分より会議室で開催する旨の報告があった。
- ・校長より、PTAからの交通安全の指摘につき、今後考えていきたい旨報告があった。
（水曜日5時間一斉下校。鴨江幼稚園の迎えの車と重なり危ない。）
また、委員任期については一度に全メンバーが入れ替わることなく持続可能な形を取れるよう、この1年かけて考えていきたい、との発言があった。
- ・オブザーバーより、以下の感想があった。冒頭校長挨拶にあった、子供が親に起きた出来事をすぐ報告する、という関係性が素晴らしいと思った。家の方がなんでも受け止めてくれる環境は大事。「4つの合言葉」においても、家庭での親の在り方を子供は見ていると思う。学校だけでなく家庭でもできること、父母の背中を見せられることあると思う。授業は担任の先生の入替わりで引き締まる点、また教科専任制の良い点、両方あり相乗効果が得られると思う。協働センターの方でもできることがあれば協力していきたい。